

## ■ 編集後記

今回の日本心臓核医学学会誌「心臓核医学」では、たこつぼ心筋症・心臓核医学ジョイントセミナー・心サルコイドーシスの FDG-PET 検査の手引き、がトピックスである。

たこつぼ心筋症は約 20 年前に本邦にて疾患概念が提唱され、最近では世界中において注目されている疾患である。今回の特集では、疾患概念・病理形態学的検討・核医学的手法による評価、と多面的な検討が加えられており、専門医であっても知識の整理のために一読する価値のある特集と考えられる。

次に、心臓核医学ジョイントセミナーでは冠動脈疾患のスクリーニングおよび機能的評価に関する見解を 5 人の専門家に述べてもらっている。折りしも、6 月末に開催された第 23 回日本心臓核医学会学術大会では、『虚血の評価を改めて考える』というテーマで、治療的視点に重点を置いたシンポジウムと PET による虚血診断を中心としたシンポジウムの 2 つを開き、熱心な討議がなされたばかりである。今後も冠動脈疾患の機能的評価は、心臓核医学にとって中心的テーマであり続けられると思われる。

心サルコイドーシスについては、FDG-PET が保険適応となった関係もあって注目されている。ただし、PET による診断においては検査前の食事など注意すべき点が多い。このため、心サルコイドーシス PET 委員会において作成した検査の手引きを本誌に掲載する事とした。この分野での第一人者による手引きは、読者の日常臨床にとって大変有用になると考える。

近森大志郎  
東京医科大学